第36期決算公告

埼玉県草加市稲荷2丁目32番22号

株式会社草加デリカ

貸借対照表

２０２４年１１月３０日現在

株式会社草加デリカ　　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	**512,925**	**流動負債**	**348,453**
現金及び預金	254,251	買掛金	159,077
売掛金	221,820	未払金	139,731
製品	7,298	未払費用	25,297
原材料及び貯蔵品	20,687	未払法人税等	690
前払費用	7,028	未払消費税等	10,481
その他	1,838	預り金	12,439
固定資産	**892,532**	賞与引当金	735
（有形固定資産）	**884,408**	**固定負債**	**260,935**
建物	20,211	長期借入金	258,335
構築物	0	退職給付引当金	2,600
機械装置	6,956		
工具器具備品	3,939		
土地	853,300		
（無形固定資産）	**6,989**	**負債合計**	**609,388**
ソフトウェア	6,989	純資産の部	
その他	0	**株主資本**	**796,069**
（投資その他の資産）	**1,134**	**資本金**	**98,000**
出資金	10	**資本剰余金**	**98,000**
長期前払費用	848	資本準備金	98,000
差入保証金	276	**利益剰余金**	**600,069**
		利益準備金	29,596
		その他利益剰余金	570,473
		繰越利益剰余金	570,473
		純資産合計	**796,069**
資産合計	**1,405,458**	**負債及び純資産合計**	**1,405,458**

重要な会計方針

（１）たな卸資産

①評価基準

製品、原材料及び貯蔵品は、原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっています。

②評価方法

製品は、売価還元法によっています。

原材料は、移動平均法によっています。

貯蔵品は、個別法によっています。

（２）固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっています。

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっています。

自社利用のソフトウエアについては、社内における見込利用可能期間（５年）に基づく定額法によっています。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

④長期前払費用

定額法によっています。

（３）引当金の計上基準

①賞与引当金

従業員に支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

②退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額に基づき当事業年度末にはおいて発生していると認められる額を計上しています。

過去勤務費用は、その発生時の平均残存勤務期間以内の一定期間(7 年)による定額法による按分額を費用処理しております。

数理計算上の差異は、その発生時の平均残存勤務期間以内の一定期間(7 年)による定額法により翌期から費用処理しております。

（4）収益及び費用の計上基準

当社は、惣菜類の製造・販売を行っており、顧客との契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っています。これらの販売取引については、出荷時から当該商品または製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるため、出荷時点で収益を認識しています。

当期純利益	190,801 千円